



猪苗代町長

前後

ひろし

明けましておめでとうございます。

新しい年の門出に当たり、日頃町政にお寄せいただいておりますご支援、ご協力に対しまして、ここに深く感謝申し上げます。

未曾有の東日本大震災から、間もなく2年10カ月を迎えようとしておりますが、本県では今も多くの県民の方々が避難生活を余儀なくされるなど、依然として厳しい状況が続いております。早い時期にふるさとへの帰還が出来ますことを念願している所であります。

本町では、一刻も早い復旧・復興に向けた除染などの放射線対策や風評被害対策などの事業を猪苗代町復興計画の下、町民の皆様のたゆまぬ努力と協働により実施してまいりました。地震により被害を受けた道路や上下水道などの生活インフラの早期整備、災害に強いまちづくりの実現に向けた地域防災計画の見直しや継続可能な再生可能エネルギーの公共施設の導入を進めてまいりました。また、「第65回磐梯まつり」「復興・

花火大会」「風とロック芋煮会

2013」「猪苗代湖ハーフマラソン」や17回目を迎えた「猪苗代新そば祭り」などの各種事業を通して、本町の安全・安心を提供するとともに、かつてないにぎわいを創出し「元氣な猪苗代」を発信することができました。ここにあらためて感謝申し上げる次第であります。

昨今の経済情勢の中で、自治体の財政も大変厳しい状況がございますが、私の町政の原点である「猪苗代町の活性化と発展」「町民の暮らしを守り、未来への希望の持てる町づくり」に立ち、①町民総参加の町政の実現②健全でわかりやすい行政基盤の確立③観光と農商工業が一体となった活気ある町づくりの推進④町民の安全安心な生活を守る⑤少子化・高齢化対策などきめ細やかな福祉体制の実現⑥地域を担う豊かな人づくりの推進という6つの宣言と復旧・復興を踏まえた施策ならびに事務事業の重点化をさらに進めてまいります。

2月には、本町で29年ぶりに

開催されます「全国高等学校総合体育大会スキー競技会」やソチ冬季オリンピック後控えた「2014フリースタイルスキーワールドカップ福島猪苗代大会」において、福島県の真の姿を国内外に発信し、本町の安全・安心の情報とおもてなしを提供しながら、産業の振興につなげてまいります。

4月の図書歴史情報館の開館、駅前周辺の活性化と秩序ある土地利用のための猪苗代駅前再整備、平成27年4月に開園予定の（仮称）川西こども園の整備や同年度の供用開始に向けた道の駅整備事業の執行にあたりまして、町民の皆様のご理解とご支援を賜りながら、全身全霊を傾けて町政進展に尽くしてまいりますので、ますますのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

町民の皆様にとりまして幸多い年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



猪苗代町議会議員

鈴木 武喜

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

日頃は、町政ならびに町議会にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故による放射能汚染の風評被害では、町が一丸となって復旧と復興、ならびに風評の払拭に取り組み、一定の成果が見えてまいりました。

また、中央ではアベノミクスの効果によって景気が改善する報道がされていることに加えて、2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定されるなど、多くの皆様が明るい将来と希望を抱かれたのではないかと感じております。

こうような中、本年は第六次猪苗代町振興計画における後期計画の中間年となり、町では「猪苗代町図書歴史情報館」の4月開館や多機能型「道の駅」（仮称）川西

こども園の整備に向けて取り組まれる予定です。

しかし、4月からの消費税の増税やTPPの締結内容、2018年までで終了する米の生産目標数量の配分取りやめとそれに伴う制度の改革が予定されているほか、少子高齢化や産業振興などさまざまな町政の課題の解決に向け、町民の皆様の声を十分にお聴きし、しっかりとした議論を重ねながら町政の進展に寄与していくことで、町民の皆様への期待に応えるべく努めてまいります。

また、開かれた議会として多くの町民の皆様が議論の一端をご理解いただくため、本年3月定例会から一般質問の内容を、後日町ホームページで視聴できるよう準備をしており、身近な議会となるよう取り組む所存であります。

新春に臨み、町民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますよう心よりお祈りし、新年のごあいさつといたします。



猪苗代町教育長

土屋 重憲

振り返りますと、大雪と遅い春の訪れ、長い梅雨と猛烈な夏の暑さ、極端な大雨、一挙にやってきた短い秋と突然の降雪等々、異常気象や「経験したことのない〇〇」などという言葉は何度も聞かされた1年でした。

その合間を縫うように、7月27日、第65回磐梯まつりが盛大に開催されました。初日は雨に降られ、たいまつ行列が中止となりましたが、翌日は天候にも恵まれ、夜の磐梯山総おどりは、昨年を上回る大勢の参加をいただき成功裏に終わりました。10月27日の猪苗代湖ハーフマラソンは、間際まで大型台風の影響が心配でしたが、終わってみれば3名の有名ゲスト選手に約3千名の参加者によるすばらしい大会となりました。

2名(内1名は中学生)の選手が区間賞を獲得するすばらしい走りを見せてくれた市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会も強く印象に残っております。

学校関係で印象的な出来事を挙げますと、猪苗代中特別バド部の

年頭のごあいさつ

全国大会男女団体3連覇、猪苗代中男子が全会津駅伝大会第4位（県大会出場）、東中女子の北会津中学生英語弁論大会創作部門優勝（県大会第4位）、長瀬小マーチンダバンドの東北大会出場（銀賞）など多彩な活躍を見せてくれました。他には、11月の環境フォーラム（於学びいな）でその成果を発表した翁島小学校の環境学習、多彩な活動を展開した長瀬小学校のエネルギー教育、東中学校の英語指導力向上事業授業公開（10月）、筑波大付属小学校算数科教諭による模範授業の実施（7月猪小）、そして10月25日には猪苗代中学校創立50周年記念式典・祝賀会が盛大に行われました。

各園、各小中学校、教育委員会3課（教育総務課、こども課、生涯学習課）一丸となって、将来を託す子どもたち一人ひとりの未来の可能性のため頑張ってきました。今年も変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお祈り申し上げます。いさつといたします。